

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（997））

2. 日時：平成30年5月31日 14時30分～17時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

江崎企画調査官、吉村上席安全審査官、岸野主任安全審査官、千明主任安全審査官、
日南川安全審査官、三浦安全審査官、竹内技術参与

（技術基盤グループ 地震・津波研究部門）

山崎主任技術研究調査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：開発計画室 北川執行役員 他13名

東北電力株式会社：原子力部（原子力設備） 担当 他1名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 土木耐震グループ 担当

中部電力株式会社：原子力土建部 耐震土木技術チーム 副長

北陸電力株式会社：土木部 耐震土木技術チーム 担当

電源開発株式会社：原子力技術部 原子力土木室 担当

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、5月23日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る耐震性に関する説明書について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

<屋外二重管の断面選定の考え方>

- 非常用海水ポンプ用ケーブルの電線管について、屋外二重管の断面図等に敷設計画位置を示すとともに、屋外二重管内に収納する設備を正確に提示すること。
- 耐震評価候補断面のうち区間Ⅰの断面①と断面③について、杭の断面力を比較した上で断面選定を行い、その結果を提示すること。
- 屋外二重管に設置する可とう管について相対変位等に対する耐震評価方針を提示すること。

<常設低圧代替注水系配管カルバートの耐震安全性評価>

- 解析モデルの設定のうち構造部材の要素分割の考え方を提示すること。
- 人工岩盤の耐震評価方法について整理して提示すること。

<立坑構造の屋外重要土木構造物の設計方針>

- 立坑鉛直断面の設計について、全体変形と局部変形のモードを踏まえ、配筋等の断面設計の方法及びその全体フローの組み立てを整理して提示すること。

（3）日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 工事計画に係る補足説明資料 耐震性に関する説明書のうち 補足-340-8【屋外重要土木構造物の耐震安全性評価について】
- ・ 立坑構造の屋外重要土木構造物の設計方針